

# 平成 25 年 6 月 月例労働経済報告のポイント

## 一般経済

- 景気は、着実に持ち直している。
  - ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、持ち直している。
  - ・企業収益は、製造業を中心に改善している。設備投資は、下げ止まりつつある。
  - ・企業の業況判断は、改善の動きがみられる。
  - ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。
  - ・個人消費は、持ち直している。
  - ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。
- 先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

## 労働経済

- 労働経済面をみると、雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。

(平成 25 年 4 月の指標)

- ・ 完全失業率 (季節調整値) は 4.1%。(前月と同水準)
- ・ 就業者数 (季節調整値) は 6,301 万人。(2 か月ぶりに増加 (前月差 4 万人増))
- ・ 雇用者数 (季節調整値) は 5,545 万人。(2 か月ぶりに増加 (前月差 24 万人増))
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は 0.89 倍。(前月差 0.03 ポイント上昇)
- ・ 新規求人倍率 (季節調整値) は 1.40 倍。(前月差 0.01 ポイント上昇)
- ・ 現金給与総額 (原数値、速報値) は 273,427 円。(3 ヶ月ぶりの増加 (前年同月比 0.3% 増))